

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年2月16日

事業所名 か〜た

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		グループや活動により部屋を設定しています。	
	2	職員の配置数は適切である	○		基準の配置に加えて加配の職員配置をしています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		職員会議(2回/月)で確認し、職員のそれぞれで役割分担を行っています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		事業所年間方針で改善目標を設定して取り組んでいます。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ふたば福祉会のホームページで公開しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者評価は行っておりませんが、関係機関の方等からご意見をいただき、業務改善に取り組めます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		外部研修への参加や事業所内学習会を開催しています。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		保護者だけでなく子ども本人の年間の振り返りや今後のことについてのワークシートを用いて自分のことを考える機会を設定しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		事業所のアセスメントシートに加えて社会生活能力調査を使用しております。	今後、5領域「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」に応じたアセスメントシートを使用します。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		朝礼や活動設定会議で行い、様々な職員が関わりながら立案を行っています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している			曜日によって活動目的が決まっていますが、内容についてはさまざまな「あそび」を取り入れています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		毎日、活動に合わせたねらいを設定しています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		どれどれに合わせた個別の活動を設定しています。	
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○				

16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		個別の記録・集団活動の記録をとり、振り返りを行うことで支援の検証・改善につなげています。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				現在、医療的ケアが必要な子どもを受け入れはありません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		年齢が高くなってから利用される方が多いので就学前に利用していた園などの情報共有の機会はありません。必要に応じて情報共有の機会をもちます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		利用開始までに引継ぎを行ったり、移行後も必要に応じて連絡、情報共有を行っています。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	事業所としての関わりはありますが、子ども達の交流の場は設定できていません。	交流できる場(障害者スポーツ体験等)を設定し、一緒に活動する機会を設けます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		年間計画を立てて取り組みます。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		面談時、毎月の利用申し込み時に行っています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		事業所内やご家庭を訪問させていただき相談体制をとっています。	気軽に相談できる場としての環境整備を行います。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		年間計画を立てて取り組みます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			
	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			

37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○	地域や法人内のイベントに参加し地域の方との交流の機会をもったり、事業所開催のイベントには関係機関の方等に来所していただいております。	
----	------------------------------------	---	--	--

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○	保護者に周知できていない。	保護者会にてご説明させていただきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		煙体験や起震車体験を行いました。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している				現在、対象となる方は利用されていません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	保護者の方と対応の確認を行っています。	アレルギーの状態により必要な場合は医師の指示書に基づく対応を行います。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			